

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（大里地区）

日 時	令和8年5月21日（木）午後7時00分～午後8時00分
会 場	大里小学校体育館
参加者	125名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・総合計画の都市像の実現に向けた施策について</p> <p>西下条町は、ハザードマップでは5メートルから10メートルの浸水などが予想されるという、ほぼ水没するような地域である。環状線の開通によって、慢性的な交通渋滞、騒音振動など、生活環境の悪化による閉塞感をすごく感じている。</p> <p>今日の総合計画の説明の中で、希望ある未来を創り続けるまちという都市像のお話があったが、都市像の実現に向けて、今の私たちのまちにどんな施策があるのか、考えを教えてください。</p>
樋口市長	<p>都市像の「希望ある未来を創り続けるまち」の実現に向けては、実施計画に位置付けた、18施策・318事務事業を総合的に推進することにより、「ひと・まち・魅力」の好循環を目指していきたいと考えている。</p> <p>とりわけ、リニア新時代を見据え、リニア駅と甲府駅の2つの拠点を中心としたまちづくりを進めるため、西下条町が近接するリニア駅前エリアでのまちづくりにおいては、新たな甲府、新たな山梨の玄関口、そしてリニア新時代を象徴するようなまちづくりの実現に向け、快適性やデザイン性にすぐれた都市空間の形成が重要との考えのもと、昨年2月に、リニア山梨駅前エリアの基盤整備方針を策定したところである。</p> <p>こうした中、まずは「こうふを、こうふくにする」をスローガンに、リニア駅前では、いつの時代にも揺るがない普遍的な“こうふく”の創出への取組として、カーボンニュートラルと緑化に先行して挑戦していくとともに、産業・生活・光のイノベーション（変革）を通じて、人と地域の“こうふく”を広げるまちづくりを進め、その実現に向けた様々な施策を展開する</p>

	<p>ことで、リニア駅周辺地域の価値を本市全域へ波及し、さらには外へ広げていきたいと考えている。そういった内容もコンセプトブックで今年度策定をさせていただきたい。</p> <p>また、防災・減災の取組としては、大里地区の洪水情報を可視化したハザードマップを作成し、地域住民の皆様に対して、水害避難の地区研修会を開催する中で、さらなる地域防災力の向上に努めてきたところであるが、リニア駅前エリアにおいても、平常時は賑わいや交流の促進、災害時には交通結節点の特徴を活かした、駅利用者や地域住民の皆様への防災機能を発揮するなど、フェーズフリーなまちづくりを進めてまいりたいと考えている。</p> <p>さらには、地域内の交通渋滞や騒音に関しても、駅前エリアのまちづくり計画の具体化や、新山梨環状道路の東部区間の整備に伴う将来的な交通量の変化について、しっかりと注視をしていくことはもとより、地域住民の皆様からご意見を伺いながら、日常生活における安全確保、一般交通への影響を最小限にすることを進めてまいりたいと思っている。</p> <p>今後においても、こうしたリニア駅前エリアの整備に向けた取組が着実に推進できるよう、地元の皆様をはじめとした市民や民間事業者などとの対話を通じて、まちづくりに込める思いなどを取りまとめる中で、すべての皆様に幸せを実感していただけるまちづくりを進めてまいりたいと考えている。</p> <p>地元の皆様方にご不便が生じるときには、必ずそれに対する解決策を市役所としても検討し、対応していきたいと思うので、またいろいろなご意見を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>質問</p> <p>リニア交通政策監</p>	<p>・リニア中央新幹線駅前の整備状況と駅周辺の交通安全対策について</p> <p>現在進められているリニア中央新幹線の整備状況をお伺いしたい。要望としては、リニア駅を整備することで駅周辺の交通量増加が予想される。それに伴って小学生が安全に通学できるよう自転車道や歩道の整備をお願いする。</p> <p>JR東海による駅舎施設工事については、本年3月11日に起工式が執り行われ、令和13年12月の完成に向けて、今始動しているところである。また、駅舎周辺においては、山梨県</p>

	<p>による新山梨環状道路から堀之内町方面に抜ける道路の改良工事や、NEXCＯ中日本によるリニア駅から中央自動車道に直結するスマートインターチェンジの建設工事が進められている。</p> <p>本市としても、駅南側エリアのまちづくりに向けて、交通広場や道路などの基盤整備のための用地取得を進めており、長期間にわたる工事期間中の周辺地域への環境保全対策については、昨年11月に設立した全事業者が参画する「リニア中央新幹線山梨県駅及び駅周辺整備における安全協議会」のもと取り組んでいるところである。</p> <p>大里地区をはじめとする市内の通学路については、現在、通学路交通安全プログラムに基づき、毎年学校や警察と危険箇所の合同点検を実施する中で、歩道の整備や注意を促すグリーン塗装などの路面標示を設置し、児童等の安全確保に努めているところである。</p> <p>今後においても、工事用車両の運行ルール設定・運用や、交通量調査に基づく対策の検討、現場周辺の環境対策などを実施する中、一般交通への影響低減に努めるとともに、交通量の変化を見据える中で、学校や地元のご意見を伺いながら、地域住民の皆様の日常生活における安全確保に努めてまいりたい。</p> <p>・自治会加入促進の取組について</p> <p>自治会では、地域の安全安心を守るために消防団の活動や街路灯の維持管理を行っているが、それは地域に住むすべての住民が平等にその恩恵を受けているところである。</p> <p>このような中で、令和7年度の大里地区の自治会加入率は、市内最下位の40.62%で、半数以上の世帯が自治会に加入しておらず、自治会加入者からすると不公平感を感じざるを得ない。</p> <p>第七次総合計画概要版の基本目標に記載されている、「地域コミュニティをはじめとする多様な主体との連携・協働を推進」するために、その取組の根幹となる自治会員の増加に向けて、市ではどのような取組を行っているか、ご教示願いたい。</p>
質問	
市民部長	<p>自治会の加入率については、昨今の人口減少と少子高齢化、多様化するライフスタイルや価値観などを背景として、ここ数</p>

	<p>年減少傾向にある。</p> <p>こうしたことから、自治会活動の持続性の維持向上のために、本市では自治会連合会及び単位自治会の皆様と連携を図る中、対応を行っているところである。</p> <p>自治会加入促進の取組としては、市役所窓口における転入手続きや、関係機関を通じた新築住宅の建築確認の申請の際に、加入促進のチラシを配付するとともに、自治会連合会と不動産関係団体と連携をし、アパート等に入居する方々に対して加入の働きかけを行っている。</p> <p>また、広報や市のホームページを通じて、自治会が担っている住民相互のふれあいや交流、子どもや高齢者の見守り、環境美化、防災・防犯などの様々な活動と役割といった、自治会活動の重要性を継続的に情報発信することによって、理解の促進に努めているところである。</p> <p>今後においても、こうした取組を継続することによって、市民の皆様方の自治会活動に対する理解と関心を高め、自治会への加入が促進されるよう努めていくので、自治会の皆様においても、引き続きご協力いただけるようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>・伝統工芸技術の保存と継承について</p> <p>計画において、伝統工芸のジュエリーに関してはすごく力を入れてもらっているが、他のものに関しては何にもないのかなというふうに感じている。</p> <p>私がやっているのは印章業であり、六郷のほうで主体的にやっているが、山梨県にもまだ職人はたくさんいる。和紙の方もかなり厳しいという話を聞いている。</p> <p>その中で、市役所での認印の廃止などは仕方がないと思うが、もう少し何かできることをやっていただきたい。山梨県の伝統工芸について、何か発信できたらと思う。</p> <p>樋口市長</p> <p>印章業や和紙といった伝統工芸、地場産業について、現状やヒントを一緒に考えさせていただければと思う。</p> <p>本市と鯖江市の連携を契機として、日本全国の伝統工芸がコラボして地方創生に繋げるといったことも考えながら進めていきたいので、ぜひ一緒に検討させていただきたい。</p>
--	---

<p>質問</p>	<p>・自治会加入の条例化について</p> <p>自治会の加入率について、市民部長から詳しい説明があったが、ここ10年ぐらはずっと加入率が低下してきている。</p> <p>市のほうでも取組がなされているし、単位自治会あるいは連合自治会のほうでも、会長さんなどが一生懸命取り組んでいるが、なかなか改善しない、右肩上がりになっていかないという実態がある。</p> <p>条例で義務化を定めている都市があると聞いたことがあるが、甲府市で自治会の加入について、いわゆる法的に定めるような計画があるかお聞きしたい。</p>
<p>市民部長</p>	<p>本市では今のところ、自治会加入について条例化をして、強制的に自治会に入るようにするといった計画はない。</p> <p>担い手不足や自治会事務の負担増加が、自治会加入率の低下に影響を及ぼしていることはしっかりと認識しているところである。</p> <p>こういった諸課題が顕在化する中ではあるが、自治会の皆様においては、地域住民の連帯と親睦の場として、また地域課題の解決の場として、さらには協働のパートナーとして、行政とともに安全・安心で快適に暮らすことのできるまちの実現に向けて、引き続き地域の中心的な役割を担っていただきたいと考えている。</p> <p>市も自治会連合会と連携を図りながら、引き続き加入の促進、担い手不足の解消、負担の軽減などの各種取組を推進して、自治会活動の継続性が保たれるよう努めていくので、重ねてご協力をお願いしたい。</p>
<p>樋口市長 (まとめ)</p>	<p>新たなまちづくりが今後進んでいくが、その間ご迷惑をなるべくおかけしないように、しっかりと自治会連合会あるいは単位自治会、各種団体と連携を密にして、情報を共有して取り組んでいくので、どうかよろしくようお願い申し上げます。</p> <p>いろいろな、ありがたいご質問・ご要望をいただいた。</p> <p>自治会加入条例の件も、条例で縛っているところがあるのか、また調べたい。まさにそれぐらいしないと厳しい。</p> <p>単位自治会は、少し前は520ほどあったが、自治会自体が</p>

	<p>解散というところまでできており、他の地区や甲府の中心部でも、それをどうしたらいいかということで、厳しいご意見をいただいている。</p> <p>自治会の活動マニュアルや加入促進ハンドブックをできる限り多くの媒体を通じてお配りをさせていただいている。中心部の方で集合住宅も多くなってきたことから、そこが一つの自治会を作ってもらえたらと、そういう事例も紹介させていただいている。</p> <p>できる限り行政と自治会の皆様とで連携をしっかりとやっていきたいと思うので、貴重なご意見を今後ともいただくようお願い申し上げます。</p> <p>第七次甲府市総合計画のもとに様々な施策事業が準備されているので、それをしっかり進めることで、希望ある未来を皆さんと一緒に創り上げてまいりたい。</p>
<p>地区からの挨拶要旨</p>	
<p>大里地区自治会連合会会長</p>	<p>今日は、これからの10年間の新たな計画、今後の道しるべとなる方向性について、丁寧に市長から説明をいただき、また意見交換をさせていただいた。本日は示された、幸せを実感できるまちづくりを体感できるよう、当地区も頑張っていきたいと思っている。</p> <p>しかし、当地区では心配が2点ある。</p> <p>1点目は先ほどから話が出ていた自治会加入率の話である。各単位自治会の方々にも努力していただいているが、なかなか好転しておらず厳しい状況であるため、さらに頑張っていきたい。ぜひ市も力を貸してほしい。</p> <p>2点目については消防団の話である。火災はもちろん、防犯対応においても大事な団体である。大里地区の皆様にも力を借りて頑張っていきたいと思うが、団員の募集についてはなかなか定数に届かないところもある。各単位自治会の皆様にも相談しながら少しずつ進めてまいりたい。</p> <p>この先10年、リニアを含め大きく変化する地域に間違いのないので、皆で飛び回っていきたい。よろしく願います。</p>